

会議の要旨（議事録）

会議の名称	令和4年度第2回 勝尾城筑紫氏遺跡保存整備委員会		
開催日時	令和5年1月30日(月) 13:30~16:30	開催場所	鳥栖市役所1階第1会議室
出席者数	委員6名 佐賀県2名 事務局8名	傍聴人数	0人
議題	筑紫氏館跡地区の発掘調査について(現地視察)		
配布資料	・令和4年度第2回 勝尾城筑紫氏遺跡保存整備委員会資料		
所管課	(課名) 教育委員会 生涯学習課 (3695)		

○教育長挨拶

○令和4年度発掘調査概要説明

○現地視察

○現地視察後審議

・T5～T7について

委員：T5・T7の状況が自然によるものか、人為的なものか更なる検証が必要。散乱した石は、豪雨や雨水集中の影響も考えなければならない。降雨による流水の影響で地形が改変されている場合もあり慎重な検証が必要。

本委員会が始まってから30年余りの間、流水によって登城道が大きく損傷している。可能ならば古文書などから廃城以降の水害記録を収集することも遺跡を考える上で有効かもしれない。

委員：T6で検出面が人為的な造成であれば、転圧された表層の下には同じ土質で転圧されていない層があるのではないかと？

委員：T7から平場3までの高低差を登る仕組みの有無の検証が必要。

・T9について

委員：T9の状況から以下の2つのことが考えられる。

① 勝尾城が文献上確認できる90年の間に建替えが行われ、不要になった瓦を用いて造成した。

② 筑紫氏が転封により勝尾城から退去した後の天正15(1587)年に起こった肥後国人一揆に対応する防衛拠点として編入された際に造成が行われた。

T9地点を勝尾神社想定地とする考えについて、居館より低位置に社を建立することに疑問が残る。その前段となる建物ではないだろうか？

委員：T9で出土した瓦の量から、総瓦葺の建物があったことは確実。造成がいつ行われたのかによって平場4の評価が異なる。

・T3について

委員：T3が認知された石垣は表面観察で戦国時代のもので違和感はない。石垣の奥にはほぼ同じ大きさの石材があり、既存の石垣を補修した可能性も考えられる。

・指摘事項と次年度調査地点について

事務局：掘り足りない部分などの指摘された点については、今年度予算の可能な範囲で補足調査を行う。来年度の調査については資料2頁で示した地点で計画し、令和5年度第1回保存整備委員会に諮りたい。

《閉会》